

第 330 回京都市考古資料館文化財講座

現地講座「東山大仏（方広寺）の遺跡をめぐる」

2022 年 10 月 29 日

コース

京阪電車七条駅改札口前【受付】 → 崩門（蓮華王院西門）跡 →
太閤塀・蓮華王院南大門 → 養源院 → 京都国立博物館正面入口 →
方広寺西面石塁 → 方広寺 → 豊国神社 → 大仏殿跡緑地公園 →
方広寺北面石塁跡 → 市バス馬町【解散】

大仏といえば、奈良東大寺あるいは鎌倉長谷寺を思い浮かべる方が多いでしょう。ところが京都にも豊臣秀吉・秀頼が造営した方広寺に、東大寺を上回る巨大な大仏が安置されていました。方広寺は国家の安寧と合わせて豊臣氏の繁栄を願って造営された寺院でしたが、皮肉にも梵鐘の銘文をきっかけに豊臣氏の滅亡を招いたことはよく知られています。その後も方広寺と大仏は京の名所の一つとして信仰を集めました。度重なる地震・火災により失われてしまいました。

今回は、かつて東山山麓に聳え立っていた方広寺大仏殿を中心に、周辺の豊臣秀吉・秀頼に関わる史跡や遺跡を巡見します。

主要な引用・参考文献

・『都名所図会』

・『京都市の地名』平凡社 1979 年

・日本史研究会『豊臣秀吉と京都 聚楽第・御土居と伏見城』文理閣 2001 年

・谷直樹編『大工頭中井家建築指図集 中井家所蔵本』思文閣出版 2003 年

・「方広寺大仏殿跡」『平成 12 年度京都市埋蔵文化財発掘調査概要』

（財）京都市埋蔵文化財研究所 2003 年

・河内将芳『秀吉の大仏造立』法蔵館 2008 年

・『京都国立博物館構内発掘調査報告書－法住寺殿跡・六波羅政庁跡・方広寺跡－』

（財）京都市埋蔵文化財研究所 2009 年

・『法住寺殿跡・六波羅政庁跡・方広寺跡』京都市埋蔵文化財研究所発掘調査報告 2009-8

（財）京都市埋蔵文化財研究所 2010 年

・京都市埋蔵文化財研究所『京都 秀吉の時代』ユニプラン 2010 年

・「方広寺跡・六波羅政庁跡・法住寺殿跡」『京都市内遺跡発掘調査報告平成 25 年度』

京都市文化市民局 2014 年

・河内将芳『落日の豊臣政権 秀吉の憂鬱、不穏な京都』吉川弘文館 2016 年

・『季刊 大林』No.57 「特集 秀吉の普請」（株）大林組 2016 年

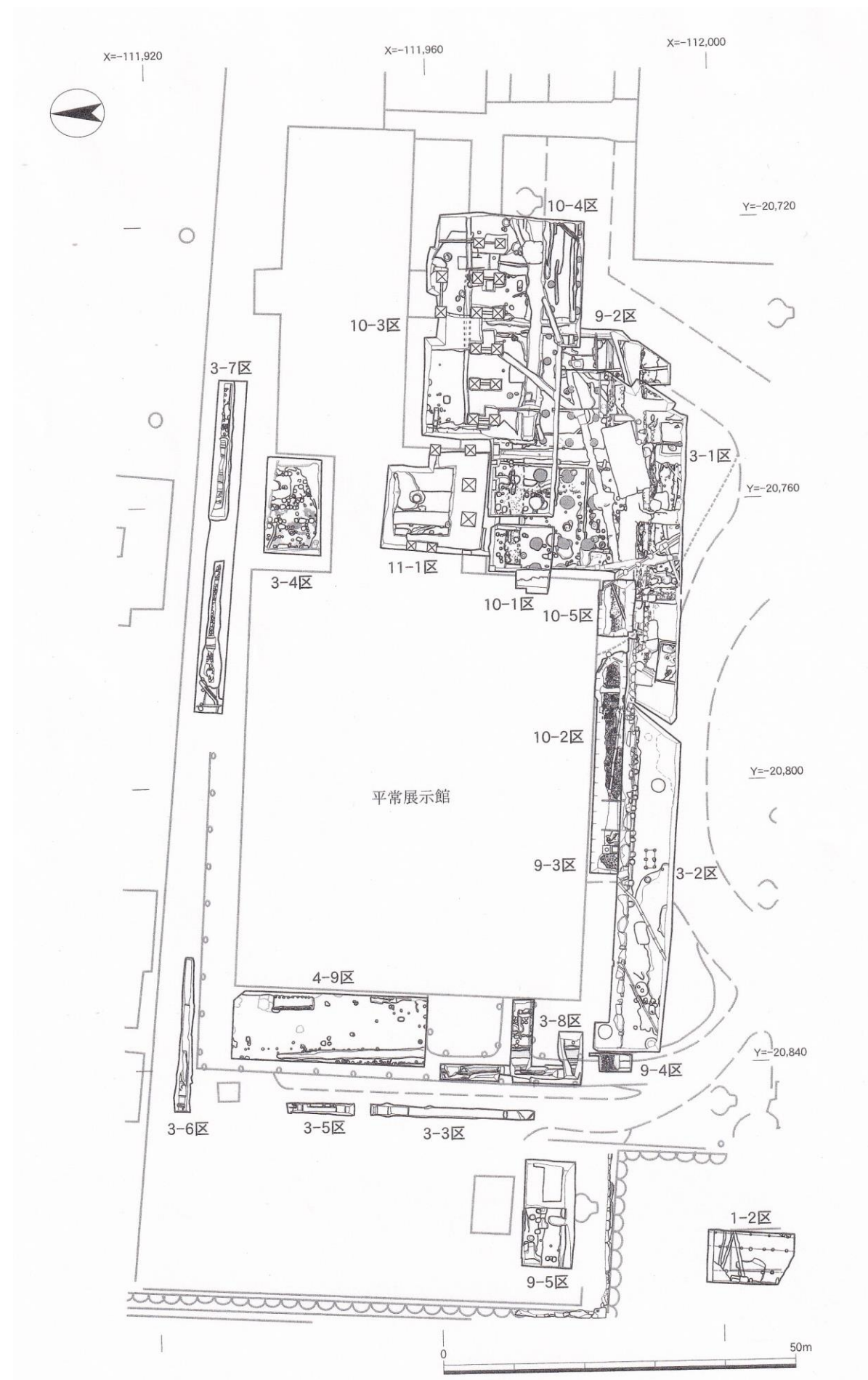


図4 京都国立博物館構内調査区配置図（埋文研 2010年）



図5 方広寺南面石基跡の調査（西南西から）



図6 方広寺南門跡の調査（東北東から）

正面立面図(西面)

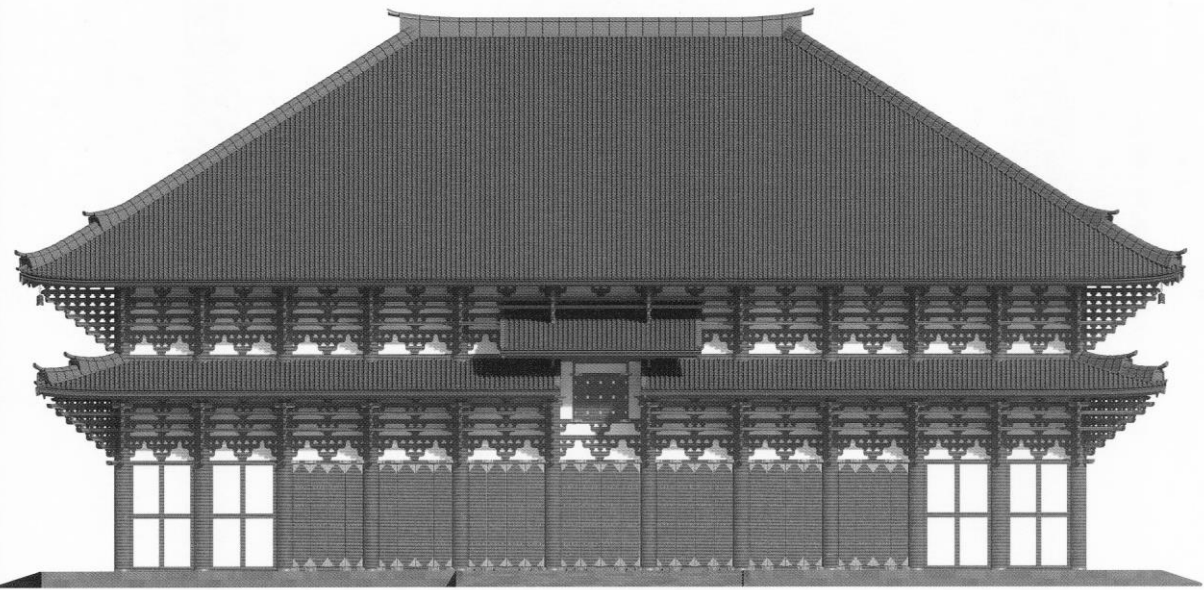


図7 秀吉期大仏殿正面図 (『季刊 大林』)

AA断面図

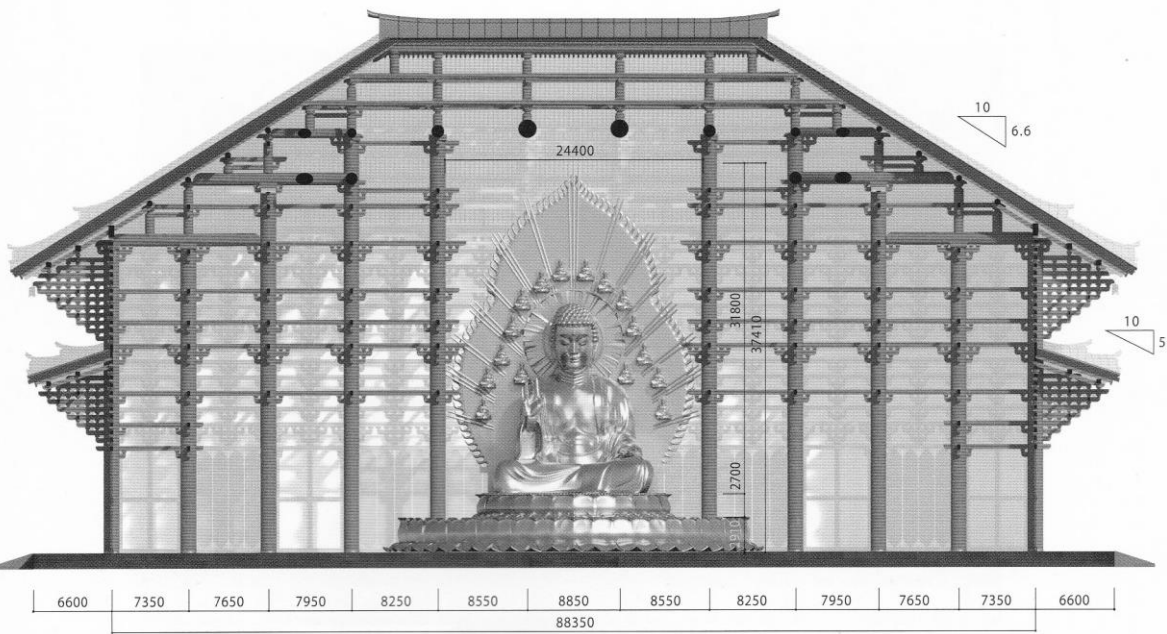


図8 秀吉期大仏殿断面図 (『季刊 大林』)

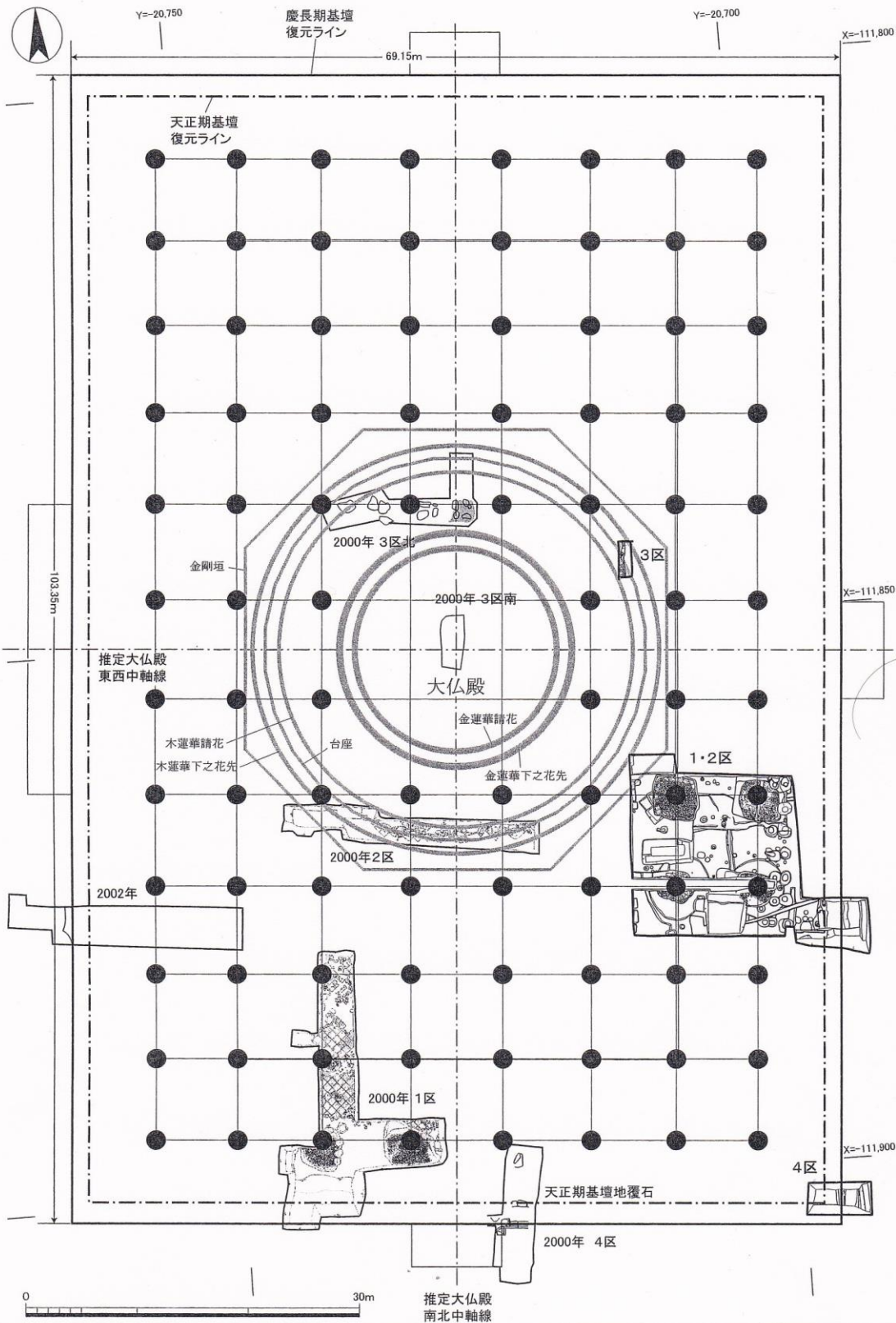


図9 大仏殿復元平面図 (京都市文化市民局 2014年)



図 10 大仏殿石敷跡（南から）

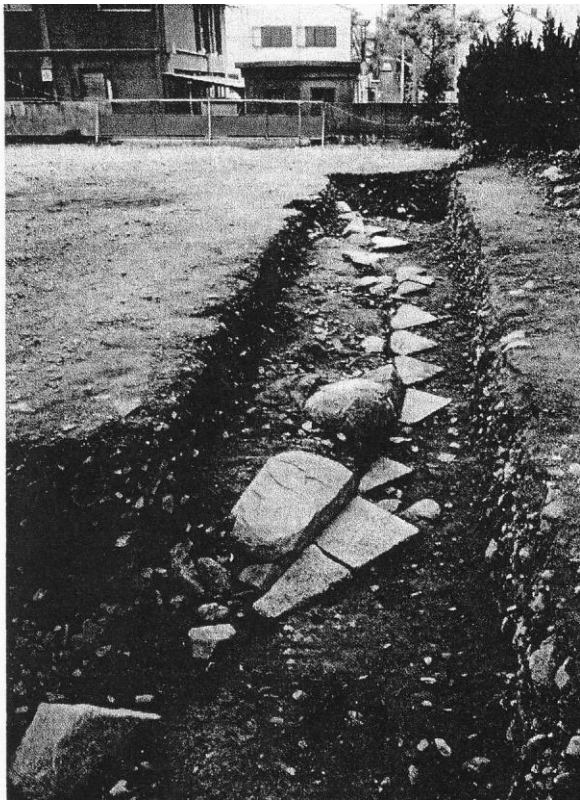


図 11 大仏殿台座跡（西から）

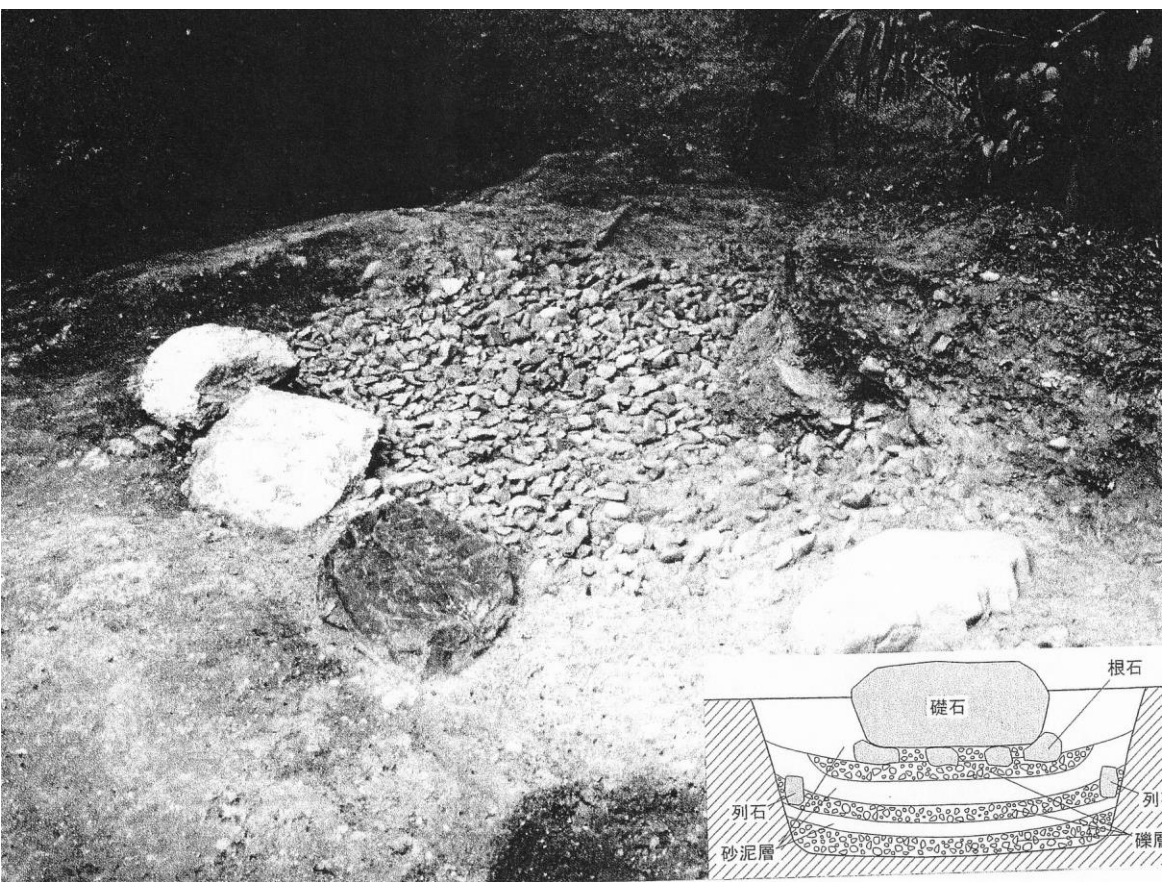


図 12 大仏殿礎石跡（北西から）